

Smart Times

「アパートメントホテル MIMARU」が訪日外国人ファミリーやグループに大変な人気だ。昨年に上野で1号店がオープンし、すでに東京や京都で10棟とあった。来年までに30棟、1

500室を目指すという。このホテルは訪日外国人が「暮らすように滞在する」をコンセプトにしたアパートメントホテルだ。キッチンや調理器具などを常備し、出前もできる。リビング・ダイニングスペース

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート（現リクルートホールディングス）入社。首都圏営業部長などを経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

ースを備え、4人を超える。にプレゼンし承認を得て、家族でも自宅にいるような15年に2人の若手社員による多言語対応や通話かけ放題のスタートした。初めは空き家の有効活用を考えていたが、居酒屋など、安心して中長期の滞在を考えていたが、居酒屋な

社内起業にも変革が必要

在ができる。

このアパートメントホテルはファミリータイプのマンションデベロッパー、コスモスインシアの社内起業

提案から誕生した。若手社員が2014年の社内起業塾に参加したことが発端となった。

「訪日外国人ファミリー向けの事業企画」を経営陣

ハウを最大限に活かして独自のホテルを開発すべきだと担当役員に提案した。

プロジェクトの担当役員は最終意思決定者の社長とボードメンバーの承認を得て、海外視察も経て検討を進めた。

17年には新会社のコスモホテルマネジメントが設立され、プロジェクトの担

当役員は藤岡英樹氏が社長に就任した。その後は試行錯誤を経て、日本初の「アパートメントホテルMIMARU」

が18年2月に開業した。スタート時はホテル業界の経験者はおらず、専門運営会社に委託しながら一緒に新

チャンスを捉え、住宅のりたなオペレーションの仕組みやルールを策定した。

現在では自社運営で、フロントや清掃員などを含めて1店を5人ほどで運営している。異分野の社内起業家が立ち上げたホテルが業界の常識を覆し、新たなホテル市場が誕生した。

アパートメントホテルMIMARUの開発はデータから市場分析をするアプローチではなく、顧客の声に気づいたことに起因する。社長と経営陣が社員に起業

機会を与え、リスクテイクする覚悟と決断から次世代事業が生まれ、会社や業界に変化を与え始めた。

平成が終わりに、新しい時代が始まった。令和の経営者は内部留保資金を有効活用し、社内起業家にもっと機会を与えて、未来の扉を開くためにイノベーション

する決断が必要だ。

する決断が必要だ。